

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年4月22日(金)14時00分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、上野管理官補佐、小舞管理官補佐

加藤原子力規制専門員

文部科学省

原子力課

横井原子力研究開発調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 本部長 他5名

高速増殖原型炉もんじゅ 所長代理 他2名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、配付資料に基づきもんじゅの廃止措置第2段階以降の廃止措置計画の検討状況等について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料3について）

- ・2次系ナトリウム機器の解体及び搬出の計画の策定に当たっては、機器内に少量付着したナトリウムが空気に曝されることを想定し、消火設備を予め準備することを検討すること。

（資料4について）

- ・セメント固化処理の対象となる濃縮廃液の発生量の見込みについて、廃止措置第2段階の実施に伴う濃縮廃液の発生要因を詳細に説明するとともに、既設の廃液濃縮液タンクの容量を超えないことをグラフにより示すこと。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：性能維持施設

資料2：もんじゅ廃止措置における汚染の分布評価の取り扱いについて

資料3：「もんじゅ」廃止措置物流計画検討状況について

資料4：もんじゅ廃止措置における放射性廃棄物処理設備の整備に係る検討状況